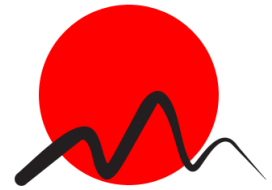


Slovenia Monthly

September 2016
vol.2-no.9

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年10月12日



～9月の主なポイント～

- 政治：**ヴラニチャル＝エルマン新財相が就任し、経済成長及び債務削減に取り組む姿勢を表明。ブレッド戦略フォーラムが開催され、70カ国から首脳級を含む約700名が参加。ツェラル首相、EU非公式首脳会合でEU域外国境の効果的管理に向けた協力を要請。
- 経済：**マクロ経済分析開発研究所、本年のGDP成長率見通しを2.3%に上方修正。格付け会社大手フィッチ社がスロベニア長期国債の格付けをBBB+からA-に引上げ。World Economic Forum競争力ランキングでスロベニアは3つ順位を上げて56位を獲得。
- 社会：**スロベニアサッカー協会会長のチェフェリン氏がUEFA会長に就任。

政治

【内政】

●ヴラニチャル＝エルマン新財相の就任【21日】

国民議会での信任投票の結果、ヴラニチャル＝エルマン前財務次官が賛成50票、反対21票で、女性で初となる財務大臣に就任した。同新財相は、非常に微妙な時期に財相職を引き継ぐことで大きな期待を感じているとし、安定した経済成長とともに、持続可能な公共財政は良好なビジネス環境の基盤であり、策定された行動計画を今後も継続して進めていく旨述べた。（同新財相の略歴は8月号をご参照）

ツェラル首相は、スロベニアは経済的な主権と評価を回復し、公的債務の削減を進めてきており、この方向性の継続を新財相に期待する旨述べた。

●難民大量流入に備える緊急対策案の策定【23日】

シェフィッチ内務次官は、難民大量流入に備える緊急対策案を策定している旨発表し、その中で、受付・登録センターをセンチェリ（北部オーストリア国境付近）、レンダヴァ（北東部ハンガリー国境付近）及びドボヴァ（南東部クロアチア故郷付近）に加え、必要に応じてクロアチア国境近くに2～3箇所設置する考えを示した。また、国際保護を求める申請に対応

する難民センターを500人規模で拡大するほか、政府直轄の施設として難民問題事務所（migration office）を設置し、難民登録手続き、ロジスティック支援及び医療サービス申請に関する作業を地方自治体より引継ぐ予定である。

●民主党が内閣不信任決議に向けたディベート開催を要求【27日】

最大野党である民主党（SDS）は内閣不信任決議に向けたディベートの開催を要求する動議を国会に提出した。一方で、ヤンシャ民主党首は、民主党は政府の活動を審議するディベートを望んでおり、実際に内閣不信任決議を提出するかは現時点で未定である旨述べた。

民主党は、本動議の提出理由を、政府の憲法及び法律への違反、連立与党合意の実現失敗、拙い国家資産管理及びスロベニアとEU加盟国との格差の一層の拡大であるとし、ヤンシャ党首は、ディベートを通し、一般国民に政府の舵取りの何が誤っているのか明らかになる旨述べた。

●下院による小規模税制改正法案の承認【27日】

国民議会（下院）は、スロベニアのビジネス環境の競争力強化を目的とする小規模税制改正法案を承認し、同法案は上院におくられた。同法案では、収入

に応じて課される所得税率の4区分(16%、27%、41%、50%)のうち、41%の区分を削除して新たに34%と39%の区分を設けることで、中間層の純収入の増加が見込まれている。一方で、法人税率は17%から19%に引き上げられる。同法案に対し、主要な工業団体及び商工会議所等は反対を表明しており、抗議行動を示唆している。

●2017年補正予算及び2018年予算案の国会提出【28日】

政府は2017年度補正予算案及び2018年度予算案を議会に提出した。2017年度補正予算案では、歳出が本年度予算より4%増となる95億3千万ユーロ、歳入が5%増となる88億5千万ユーロとなり、財政赤字は対GDP比1.6%を見込んでいる。一方、2018年は歳出が前年度よりわずかに高い95億7千万ユーロ、歳入が約5%増となる92億7千万ユーロとなり、財政赤字は対GDP比0.7%まで減少すると見込まれている。

歳入の拡大部分は、経済危機時に支出が削減されていた治安・安全保障、インフラ、科学、雇用及び医療分野に充てられる。

スロベニアに迫る！③

持続可能な目的地(Sustainable Destination)選出

9月27日から2日間にわたり、リュブリャナ城にて世界緑の日会議(Global Green Destination Day Conference)が開催され、持続可能な目的地トップ100(Sustainable Destination Top100)が発表されました。スロベニアからは、「リュブリャナ」及び「Slovenia Green Destination(ノヴァゴリツァ、ブルダ、マリボル、プトウイ、クランスカゴラ、ペラクライナ、ヴェレニェ及びスロベングラデツより構成)」が選ばれ、後者は100の基準のうち96%を満たし世界一の持続可能な目的地に選出されました。「2016年欧州緑の都市」でもあるリュブリャナ市は、前回の2014年にも持続可能な目的地トップ100に選ばれ、今回の会議の開催地となりました。

オランダを拠点とする団体「Green Destinations」の設立者であるアルベルト・サルマン氏は、スロベニアを「素晴らしい地」と賞賛し、スロベニアの人々に対し、今後も美しさ、緑地の多さ、旅行者の信頼性といったスロベニアの良さを継続させるとともに、今回の選出を受けて自国に誇りを持ってほしいと述べました。

スロベニアは小さな国ですが、持続可能な観光事業への大きなステップを踏んでいる国として徐々に国際的に知られてきています。

今回の会議は、世界観光の日(World Tourism Day)と合わせて開催され、観光事業に携わる欧州の専門家だけでなく、東ティモールやボツワナ、ルワンダ、インドネシア、南アフリカからも専門家が参加しました。



(写真: Green Destinations ホームページ)

【外政】

●ブレッド戦略フォーラムの開催【5日・6日】

スロベニア政府主催によるブレッド戦略フォーラム(BSF)が開催された。本年は「Safeguarding the Future(未来を守る)」をテーマに15のセッション及びパネルが設けられ、我が国の塩崎厚労大臣、NEDO及び日立製作所関係者等の政府要人を含む約70カ国から700名が参加した。

ツェラル首相は、開会セッションのスピーチにて、国際社会における不確実性の広がりに対するビジョンの共有と共通の解決策の模索を強調し、安全保障や難民の問題を効率的に解決しない限り、経済などの発展に向けた問題や我々の未来について集中的に取り組むことはできない旨述べた。

同テーマは、パホル大統領、グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領等の参加したリーダーズ・パネルでも取り上げられ、パホル大統領は、EUは過去50年で築き上げたものを深化させ、若い世代に安全で確かな未来を保証するか、それぞれの国内政治に回帰するかの岐路に立っている旨述べた。

●スロベニア・オーストリア首相会談【12日】

ツェラル首相は、当地訪問中のケルン・オーストリア首相と会談し、主に難民問題につき意見交換を行った。ツェラル首相は、会談後の共同記者会見において、シェンゲン国境においてEU規則を厳格に適用し、不法移民がEU域内に流入することを許容しない

旨強調し、移民数が増加した場合には、シェンゲン国境を保護するためにEU加盟国間の協力が重要になってくるとの考えを示した。

ケルン首相は、特に対スロベニア国境における国境管理の潜在的な新たな措置につき、スロベニア政府に対し、情報共有を行っていくことを約束し、二国間の国境を可能な限りオープンなものとしていくのは、オーストリアの利益でもあるとの立場を確認した。

●EU27か国による非公式首脳会合【16日】

EU27か国による非公式首脳会合がブラチスラバ(スロバキア)で開催され、ツェラル首相が出席した。ツェラル首相は、本会合にて特に移民及び治安問題への具体的措置を含む工程表を今後数ヶ月中に策定する決定がなされたことを歓迎し、EU加盟国が本当に前進していると実感するためには同措置の早期策定が必要である旨述べた。

ツェラル首相は、特に移民問題につき、刻一刻と状況は変化しており、EU域外国境の効果的な管理のため、更なる協力が必要である旨強調し、他のEU加盟国代表より、スロベニアのイニシアティブに則り、EU域外国境の防衛のため、ブルガリアに加え、EU加盟国以外の西バルカン諸国への支援継続の必要性について発言がなされた。

●パホル大統領の国連総会出席【19～22日】

パホル大統領は、国連総会出席のためニューヨークを訪問し、一般討論演説を行ったほか、難民及び移民に関する国連サミットに参加した。同サミットにて、パホル大統領は、国際社会は不法移民の問題に対処する必要があり、責任の共有、団結及び開かれた対話の精神に基づき、紛争、人権侵害、テロ及び貧困といった難民発生の原因となっている問題解決に向けた協力を要請した。

同大統領は潘基文国連事務総長と会談を行い、西バルカン情勢中心に意見交換を行い、同事務総長はパホル大統領に対し、地域協力の促進及び国連による紛争予防・平和維持活動へのスロベニアによる建設的な役割に謝意を表明した。またパホル大統領は、滞在中、ポロシェンコ・ウクライナ大統領、ストルテンベルグNATO事務総長、トウスク欧州理事会議長等と会談したほか、オバマ米国大統領とレセプションにて立ち話を行った。

●ツェラル首相のバルカンルート諸国首脳会合への出席【24日】

ツェラル首相はウィーンで開催された難民に関するバルカンルート諸国首脳会合に出席し、同会合には難民のバルカンルートに位置するドイツからギリシャまで11カ国の代表が参加した。ツェラル首相は会談後、不法移民に対するバルカン難民ルートの開放を防ぐため、更に行動を起こす必要があり、EU域外国境の管理強化に向け協力し、EU・トルコ間の合意の実行のためにあらゆることを行わねばならない旨述べた。また、同首相は、各国首脳は不法移民をこれ以上許してはならないとの認識を再確認し、このための措置はドイツからギリシャまでの諸国間で調整・協力を行い、二国間レベルで実施される旨述べた。更に同首相は、スロベニア警察の派遣及び物資の供給等における支援引き続き行おうとし、他の加盟国及びEUも警察官派遣や物資及び資金面での支援を行うよう要請した。

●スロベニアがIAEA理事国に選出【29日】

スロベニアはウィーンで開催されたIAEA総会にて2016年～2018年の任期でIAEA理事国に選出された。スロベニアが理事国を務めるのは、1997年～1999年及び2005年～2007年に続いて3度目となる。外務省は、スロベニアは核エネルギーの平和利用を強く支持しており、原子力の安全、安全保障及び技術協力を理事国の関心を向けるよう尽力していきたい旨声明を発表した。

スロベニアに迫る！①

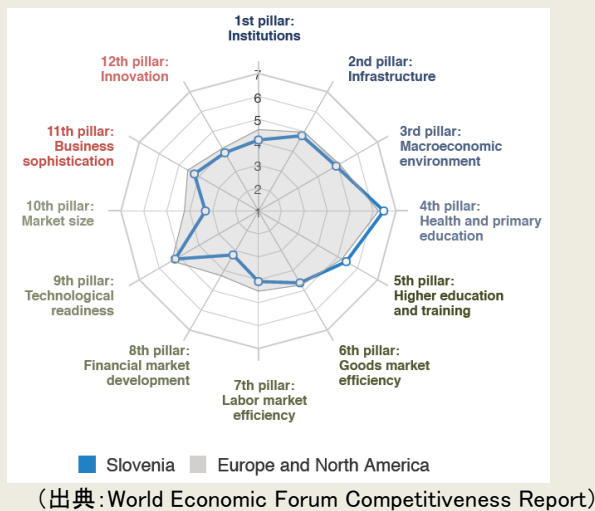
World Economic Forum 競争力ランキング

World Economic Forum の競争力ランキングが発表され、スロベニアは昨年より3つ順位を上げ138カ国中56位となり、1～7で評価される全体評価は4.39を記録したが、金融市場の発展が一番低く118位のとどまり、労働市場の効率性が85位、市場規模が同じく85位で課題となっている。これに対して、健康及び初等教育では16位、高等教育では22位、イノベーションでは33位、技術力では35位、インフラが39位と高評価であった。報告書は、スロベニアの課題として特に税制、非効率な公共サービス、制限的な労働法制、政治の不安定性を挙げている。

中東欧地域では、チェコ(31位)、ポーランド(36位)に次ぐ3位で、スロバキア(65位)、ハンガリー(69位)より上位となり、旧ユーゴ諸国では、クロアチア(74位)、セルビア(90位)を押さえ最上位を獲得した。

スロベニアのカテゴリー別順位

	Rank / 138	Score (1-7)	Trend	Distance from best
Global Competitiveness Index	56	4.4	—	1
Subindex A: Basic requirements	38	5.1	—	1
1st pillar: Institutions	58	4.1	—	1
2nd pillar: Infrastructure	39	4.8	—	1
3rd pillar: Macroeconomic environment	58	4.9	—	1
4th pillar: Health and primary education	16	6.5	—	1
Subindex B: Efficiency enhancers	54	4.3	—	1
5th pillar: Higher education and training	22	5.4	—	1
6th pillar: Goods market efficiency	42	4.6	—	1
7th pillar: Labor market efficiency	85	4.1	—	1
8th pillar: Financial market development	118	3.2	—	1
9th pillar: Technological readiness	35	5.2	—	1
10th pillar: Market size	84	3.3	—	1
Subindex C: Innovation and sophistication factors	37	4.1	—	1
11th pillar: Business sophistication	48	4.2	—	1
12th pillar: Innovation	33	3.9	—	1



マクロ経済分析開発研究所(IMAD)は秋期経済観測を発表し、本年のGDP成長率見通しを春期予測の1.7%から2.3%に上方修正した。また、2017年のGDP成長率見通しを2.4%から2.9%、2018年の成長率見通しを2.3%から2.6%と同じく予測を引き上げた。

今次上方修正の要因は輸出及び国内消費の拡大であり、本年の輸出成長率は、春期予測の3.7%から5.7%に大きく上方修正され、本年も国内消費の成長率も春期予測の1.0%から2.3%に引き上げられた。投資に関しては、EU基金の前予算期終了に伴う公共投資の減少を要因に、春期予測の4.0%減から5.0%減に下方修正されたものの、新たな予算期への移行を受けて、2017年には6.0%、2018年には5.0%の増加が見込まれている

●フィッチが長期国債格付けを引上げ【23日】

大手格付け会社フィッチ社は、スロベニア長期国債の格付けをBBB+からA-に引き上げると発表した。同社は、構造改革と経済成長により財政状況が強固となったとし、財政規律施行法による継続的な財政赤字の削減を強調した。

【金融・企業関係】

●中国ビジネス代表団の訪問【20～24日】

中国・中東欧諸国「16+1」の枠組みの一環として、中国の寧波市のビジネス代表団が5日間の日程でスロベニアを訪問した。代表団は、アイドフシュチナ市の軽量飛行機メーカー「ピピストレル」社の視察、コペル港の訪問等を行ったほか、同代表団出席の下、スロベニア・中国ビジネス・投資フォーラムが開催された。

王家瑞(おうかずい)中国人民政治協商会議全国委員会副主席は、滞在中、ブルグレス国民議会(下院)議長及びベルヴァル国民評議会(上院)議長と会談し、スロベニアにおけるインフラ建設に際する協力、スロベニア産農産物の対中輸出等の経済協力及びウィンタースポーツ分野での協力を中心に意見交換を行った。

●ビジネス代表団の米国訪問【20～24日】

コプリウニカル公共行政相の率いるスロベニア・ビジネス代表団は、デジタル経済の新たなビジネスモデルの視察及びIT企業との協力強化のため、5日間の日程で米国を訪問した。今回の訪問には約30社の企業代表が参加し、IBM社、Uber社、Facebook社、Google社のほか、アメリカ航空宇宙局(NASA)

経済

【マクロ経済・統計】

●ムーディーズが長期国債格付け見通しを引上げ【17日】

大手格付け会社ムーディーズは最新国債格付けを発表し、スロベニアの格付けをBaa3に据え置く一方、今後の見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げた。ムーディーズは今次見通しの引上げの要因について、公的債務状況の改善、公共行政及び司法制度などを含む、経済分野における長期的な課題への対処に向けた改革のイニシアティブをあげている。

●マクロ経済分析開発研究所の秋期経済観測【17日】

※掲載内容は、スロベニアの報道をまとめたものです。

を訪問した。

コプリウニカル公共行政相は、訪問後、スロベニアがデジタル技術における主要国と認識されることを目指しているとし、米国企業は、法規制の強い欧州市場での活動にあたり、手助けとなるパートナー国を探しており、スロベニアがそのよきパートナーとなれる旨述べた。

●ポチヴァルシェク経済相のフランス訪問【26日】

ポチヴァルシェク経済開発・技術相は、パリで開催された対スロベニア投資誘致のための会議に出席し、スロベニアにとって、フランスは第5位の貿易パートナーであり、フランス企業による対スロベニア投資は第7位であった旨述べ、更なる投資を呼びかけた。

また、同大臣は、サパン・フランス財務大臣との会談し、二国間の経済協力等について意見交換を行った。

スロベニアに迫る！⑳

デロイト社の中欧企業ランキング

デロイト・セントラル・ヨーロッパ社は、2016年の中欧企業トップ500を発表しました。本ランキングは、各企業の2015年の業績に基づき、中・東欧諸国18国（EU加盟11カ国、旧ユーゴ4カ国、ウクライナ、アルバニア及びモルドバ）の企業規模を順位付けしたものです。

本年のランキングでは、上位500企業にスロベニアから17企業が入りました。スロベニアで最上位だったのは30位のペトロール社（Petrol、石油製品）で、続いて48位にメルカトル社（Mercator、小売業）、90位にGEN-I社（電力・ガス）が入りました。

企業トップ500

順位	会社名	分野	国籍	業績 (百万ユーロ)
1	PKN Orlen	エネルギー	ポーランド	21,109
2	MOL	エネルギー	ハンガリー	13,263
3	Škoda Auto	自動車	チェコ	11,548
30	Petrol Group	エネルギー	スロベニア	3,817
48	Mercator Group	小売業	スロベニア	2,612
90	GEN-I Group	エネルギー	スロベニア	1,731
122	Mercator Co.	小売業	スロベニア	1,403
148	Gorenje Group	家電製品	スロベニア	1,225
151	HSE Group	エネルギー	スロベニア	1,224
162	Krka Group	製薬	スロベニア	1,165
187	Lek Group	製薬	スロベニア	1,059

また業種別のトップ50では、銀行部門で新リュブリャナ銀行（NLB）が19位に入り、保険業部門では、

6位のトリグラウ保険（Triglav）をはじめ5社がランクインしました。

銀行トップ50

順位	銀行名	国籍	資産(百万ユーロ)
1	PKO Bank Polski	ポーランド	62,640
2	Bank Pekao Poland	ポーランド	39,607
3	Česká spořitelna	チェコ	35,507
19	NLB Group	スロベニア	11,822

保険会社トップ50

順位	会社名	国籍	プレミアム (百万ユーロ)
1	PZU Poland	ポーランド	4,387
2	Ergo Hestia Poland	ポーランド	1,282
3	WARTA Poland	ポーランド	1,251
6	Zavarovalnica Triglav Group	スロベニア	919
13	Sava Re Group	スロベニア	486
28	Adriatic Slovenica	スロベニア	298
30	Vzajemna	スロベニア	275
34	Zavarovalnica Maribor	スロベニア	249

社会・文化・スポーツ

●スロベニア人がUEFA会長に就任【14日】

スロベニアサッカー協会会長のアレクサンデル・チェフェリン氏が汚職で業務停止処分を受けたプラティニ前会長に代わり、第7代UEFA（欧州サッカー協会）会長に就任した。チェフェリン氏は48歳の法律家で、2011年2月にスロベニアサッカー協会会長に就任し、2015年に再当選して2期目を務めていた。同氏は就任後初の記者会見にて、UEFA幹部の任期制限を導入するなど透明性の確保に努め、協会運営を監督するコンプライアンス委員会を設置する旨述べた。

●リオ五輪柔道金メダリストの記念切手発売【30日】

スロベニア郵便は、リオ五輪柔道女子63キロ級で金メダルを獲得したティナ・トゥルスステニャク選手の記念切手の発売を開始した。スロベニア郵便は独立以来、五輪金メダリストの記念切手を発行しており、今回の切手はツェリエ柔道クラブとスロベニア切手収集協会とのコラボレーションで作成され、価格は1.26ユーロである。

発見！スロベニア

スロベニアのケーキ

ヨーロッパの国々をまわると各国固有のケーキに出会うことができますが、スロベニアではブレッドクリームケーキとプレクムルスカ・ギバニツァが伝統的なケーキとして知られています。

ブレッドクリームケーキ(Brejska Kremšnita)は、スロベニア北西部の有名な観光地、ブレッド市の名物として知られている、カスタードクリームとホイップクリームの2層からなるクリームをパイ生地でサンドしたケーキです。カスタードクリームをパイ生地で挟むケーキは中欧地域でよく見られますが、2種類のクリームが入っているのが特徴で、カスタードクリームは軽く、甘さも控えめなため、その見た目とは異なり、甘いものが苦手な人でもあっさり食べられるケーキです。このケーキは、1953年にブレッド湖の湖畔に位置するホテル・パークのパティシエであった、イシュトバーン・コヴァチェヴィッチにより生み出され、現在でもそのレシピを忠実に守っており、原産地名称保護の対象にもなっています。



(写真:ブレッド市観光ホームページ)

プレクムルスカ・ギバニツァ(Prekmurska Gibanica)は、ケシの実、カッテージチーズ、ウォールナッツ、リンゴの4層からなるボリューム満点のケーキで、もともとはスロベニア北東部プレクムリエ地方のケーキですが、現在ではスロベニアを代表するデザートとして知られています。ギバニツァという名前は、「折り畳む」を意味する単語である「グーバ(guba)」に由来しており、数世紀にわたり、プレクムリエ地方で結婚式などのお祭りや大きな仕事を終えた後に食べられていました。現在ではリュブリャナ市のレストランやカフェでも楽しめますので、スロベニアにお越しの際はお試しください。



(写真:スロベニア政府観光局ホームページ)

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願いいたします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●日本映画祭2016

「音楽の力」をテーマに、音楽にまつわる日本映画4作品を上映します。親子で楽しめる作品が揃っていますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非お越し下さい。

◇上映予定作品:

- (1) マエストロ！(2015年／129分／出演・松坂桃李、西田敏行ほか)
- (2) くちびるに歌を(2015年／132分／出演・新垣結衣、木村文乃ほか)
- (3) 楽隊のうさぎ(2013年／97分／出演・川崎航星ほか)
- (4) アブラクサスの祭(2010年／113分／出演・スネオヘアーほか)

◇時期: 11月初旬予定(日時未定)

◇場所: リュブリャナ市内映画館

【領事班からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●「たびレジ」をご利用ください！

「たびレジ」とは、海外に行かれる方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。海外旅行や海外出張をされる方は、是非登録してご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

たびレジには「簡易登録」の機能もあります。これは、メールアドレスと国・地域を指定するだけで、対象国・地域の最新海外安全情報メールなどを入手できます(緊急時連絡を除く)。この「たびレジの簡易登録」も是非ご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)